



カトリック長崎大司教区 広報委員会
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-843-3417
振替口座 01880-5-2699
発行人 山田良秋
印刷所 株式会社 インテックス

新枢機卿の叙任式

教皇フランシスコは昨年12月7日(土)午後バチカンの聖ペトロ大聖堂で公開枢機卿会議を主宰され、この中で教皇は、東京教区大司教・菊地功枢機卿をはじめとする21人の新枢機卿の叙任式を執り行われた。(バチカン・ニュース)
※当初発表の日程から変更された。

2025年 年頭の手紙

希望ある声かけを

大司教 ペトロ 中村 倫明



あたらしい年と希望の聖年を迎えお祝いを申し上げます

皆さまの中には、動物を飼ったり、植物を育てておられる方も多しと思っております。中には今年の干支の「巳」を飼っている方もおられるようですが、身近には犬や猫を飼っておられる方が圧倒的に多いのではないのでしょうか。それに、ご主人の皆さま方は、ご自分たちの愛犬や愛猫に「太郎ちゃん」「はな子ちゃん」などと一日に何度も声をかけ、愛情を込めて抱きしめておられることでしょうか。また愛犬たちも、それに応えて懐いていくことでしょうか。

でした。あれ以来、生き物を飼うことをしていません。今でも、食事にヤギの肉が出ると「メリー！」と声をかけていた頃のことか思い出され、箸がすすみません。

昨年、大阪でのある研修会で、参加者のお一人に「わたしは花を育てています」とおっしゃる方がおられました。その方は「花を育てる時に大切にしていることは、水かけはもちろんです、それ以上に声かけです。『おはよう』とか『大好きだよ』とか声をかけていると、花もちゃんとこたえているかのように、きれいな花を咲かせてくれるんですよ」とおっしゃいました。そして、次のように付け加えたんです。「いい言葉をおっしゃることです。わるい言葉や汚い言葉を使うと、きれいな花には育ちません」その話を聞いていた近くの参加者も「わたしも花を育てていますが、全くその通りです」とうなずいておられました。

以前、飲み水に、良い言葉をかけることと美味しくなり、汚い言葉をかけることと不味くなるという話を耳にしたことがあります。

動物や自然物に対してもそうであります。言葉はなにかを呼び起こす人間においてはなおさらのことでしょう。

昔行われた研究で、声をかけて育ててもらった赤ちゃんと、声をかけてもらえずに育った赤ちゃんと、比較をしたら、声をかけてもらえずに育った赤ちゃんは、短命だったという話もあるようです。

「声かけをしよう！」と、日常生活においては基本的にごく当たり前のことを言い続けて3年になります。信望生活や教会生活においても、基本的で当たり前のことになっていきますか？

福音宣教の花を咲かせよう

今年は、声かけにおいて、さらに一歩進んでいきましょう。

声かけには、良い声かけと、悪い声かけがあります。積極的に思いやりのある良い声かけを行っていきましょう。わたしたちは、他人を褒めるよりも、相手を非難し否定する言葉や悪口を口にすることが多いです。その人に直接言わなくても、他の人たちと悪口を言い合ったり盛り上がりたり、他人をけなす言葉や他人の悪い噂話をするなどで楽しんだりしています。悪く汚い言葉は、必ず他人を傷つけ、人としての尊厳を殺していきま。他人の悪口を言うこと、うわさ話に花を咲かせることはやめましょう。それは良き花ではありません。福音宣教の花は救いの命のきれいな花です。

希望の聖年の年でもあります。教会は希望の場所なのに、希望のない言葉が満ち溢れています。「召命が少ない」「信者が少ない」「若者が少ない」と希望がなく絶望しているあきらめの言葉です。神さまはわたしたちを救うことを決してあきらめていません。あきらめ嘆くだけで何もしないのはわたしたち人間です。神さまはいつもともにいて働き、わたしたちを命がけで愛してくださっています。「あなたは愛されています」「教会においてになりませんか」「司祭になつて一緒に働きますか」と笑顔のすてきな声で、希望ある言葉をかけ続けていくことを真剣に行ってください。

2020年 被爆75年から5年間のチャレンジ。 https://nuclear-free.net/ 核なき世界基金

おともだちへ

あけましておめでとう「ございます。ことしは、きょうかいでは、「きぼうのとし」となっています。きぼうとは、「かみさまからあいされているから、かみさまはともにおられるから、どんなことがあってもだいじょうぶ」ということです。

「あいしているよ。あなたはわたしのたからだよ。あなたはわたしのきぼうだよ」ということばを、

いちばんのきぼうであるかみさまから、また、おとうさんやおかあさん、まわりのひとからも、いっぱいもらってくださいね。

そして、みなさんも、おともだちにおともだちをたいせつにする、あたたかいことばをかけてくださいね。わたしもみなさんのことがだいじです。

だいじきょう

なかむら みちあき



ほしかげ

「旅立っていく誰かも息白く」俳人、黛(まゆずみ) まどか氏の句
▲解説「寒気の中、真っ白な息を吐きながら、人が旅立っていきます。不安と希望が交錯した白息。途上で遭うかもしれない困難の数々とそれを乗り越えてこそその喜び。旅はいつも私たちにさまざまなることを教えて、人生を切り拓く力を授けてくれます。出会いと別れを繰り返しながら」。黛氏は1999年にサンチャゴ巡礼を徒歩で踏破し、途上目の当たりにした巡礼者たちの様子を詠っている
▲彼女が主宰する記事として、解説の続きには「私がかつて果したサンチャゴ巡礼の合言葉を皆さんに送ります。『ウルトライヤ!』(もつと遠くへ)。素晴らしい新年になりますよう」とあり、締めくくられている。掲載年代を見ると過去に新年を迎えた際の寄稿である。2025年は「聖年」、テーマは「希望の巡礼者」だ
▲旅する教会は、魂の故郷である神の国をめざすよう促す。黛氏の「もつと遠くへ」の言葉は、その遠き道のりを果たすよう奮い立たせる私たちへのエールのように、この新しい一年の始めに、免償を特徴とする「聖年」の恵みを受け、互いのため、また煉獄の靈魂のために祈り、「神の国へ」の希望を思い起こす
▲皆様におかれましては、神の恵みと愛に満ちた希望を絶やさぬ一年となりますように。(熊)



# 「希望の巡礼者」 2025聖年 始まる!

「希望の巡礼者」をテーマとする2025聖年が2024年12月24日、バチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれることをもって開幕。12月29日には長崎教区を含む世界各地の教区で開幕ミサを実施。閉幕ミサを迎えるまでのおよそ1年間、25年に一度の通常聖年を過ごしていく。



長崎教区では期間中、教区や委員会主催の行事を左表の通り予定。各行事については主催者から案内するので、各小教区においてご確認をお願いしたい。25の巡礼指定教会を訪問する際にお使いいただける巡礼スタンプ帳などについても、小教区を通してお知らせする。教皇は「この聖年は全教会にとって恵みと希望の濃い体験となるということを確認」(「希望は欺かない」一〇二五年の通常聖年公布の大勅書)6)としていると述べられている。また、中村倫明大司

教は「聖年の間に、被爆80年や信徒発見160周年も迎えます。恒久平和実現にも、福音宣教にも希望を失わないで、具体的に声をかけながら動いていきましょう」(本紙2024年12月号)と呼びかけている。

## 1月18日～25日 キリスト教 一致祈禱週間

毎年1月18日～25日の「キリスト教一致祈禱週間」。今年のテーマは「あなたはこのことを信じますか」(ヨハネ11・26参照)。長崎では、長崎キリスト教協議会とカトリック長崎大司教区の主催により、1月19日(日)14時から中町教会で礼拝が予定されている。

## 新しい教区祈禱書作成

今年の待降節第1主日までに発行

新しいミサの言葉になつて2年、この新しい「ミサの式次第」が入った新しい祈禱書の発行が待たれている。「皆が同じ祈禱書を持つて、同じページをめくり、高齢者も(そのためにサイズを大きく)子どもたちも(そのため

に全面的な口語化)一緒に声を出して、オナジココロと同じ言葉で祈れるような祈禱書」と、教区典礼委員会ではその作業に取り組んでいる。病者の塗油、通夜納骨・埋葬の儀式も掲載。すでに改訂作業は終わり、試用版祈禱書は出来上がりつつある。教区内のすべての司祭、すべての修道院に1冊ずつ配布、またいくつかの小教区に実際に試用してもらい、装丁、内容、書体、配置、表現用語などについて意見を収集、それを参考に正規版を作成し、今年の待降節第1主日までの発行と配布を予定。これまでの祈禱書と混在するのではなく、一斉切り替えてある。これまでの祈禱書は個

## 毎月最後の日曜日は――

## 長崎教区の「家庭の日」

教区家庭委員会では、「聖年」を機会に、毎月、最後の日曜日を長崎大司教区「家庭の日」とすることを中村倫明大司教様から認可をいただき、今年から、この「家庭の日」に教会や家庭で、家族の平和と一致を願う「家庭の祈り」を唱え、家族の絆を深める関わりを持つよう、呼びかけていくこととなりました。

そのための一つとして、祈りのカード(右の写真は表紙)を作りました。カードの裏面には、教会と家庭を結ぶ懸け橋として、家庭委員会ホームページやYouTubeチャンネルのQRコードも記載いたしました。ともにあゆむカレンダー」と併せてご利用いただき、信仰生活にお役立てください。

この「家庭の日」には、



特に意識して、祈りのある家庭と愛の絆に結ばれた家庭を目指し、祈りと行動をもつて取り組んでいただきます。何よりも家族みんなが神のみ旨になつて生きていくことができ、るように家族と一緒にミサにあずかりましょう。「家庭の日」の開始は、長崎大司教区の「聖年」開幕ミサの日、2024年12月29日(日)の「聖家族」の祝日からとなります。

この「家庭の日」は、聖年に限らず、聖年が終わった後も、家庭の福音化を目指して続けていくこととなります。わたしたちのそれぞれの家族が、そして教会家族が、「希望のしるし」となることができますように。

(教区家庭委員会)

## 聖年に行く ローマ・アッシジ・ルルド巡礼

期 間 2025年9月1日(月)～9月13日(土)  
代 金 733,000円(35名以上)  
※燃油サーチャージ・各国諸税は含みません  
同行司祭 高見 三明 名誉大司教(カトリック長崎大司教区)

2025年の聖年のテーマ「希望の巡礼者」はわたしたちに出かけることを促しています。この旅が神様のご計画と世界の出来事にわたしたちの心と歩み続ける勇気と機会となるよう願っています。

カトリック長崎大司教区  
大司教 ペトロ中村倫明

企画 カトリック長崎大司教区 手配 有限会社アミタイトラベル

\*旅程などの詳細は各小教区へのご案内をご確認ください\*

## 2025聖年 行事予定 カトリック長崎大司教区

バチカン 2024年12月24日～2026年1月6日  
世界各地の教区 2024年12月29日～2025年12月28日

開催予定日	行事	場所	主催
2024年 12/29(日)14時	聖年開幕ミサ	浦上教会	教区
2025年 1/13(月)10時～12時30分	大人の侍者会 講師:嘉松宏樹師	大司教館 チャペル	典礼委員会
1/18(土)～25(土) 1/19(日)14時～15時	キリスト教一致祈禱週間 『一致祈禱礼拝』	中町教会	エキュメニズム・ 諸宗教委員会
3/9(日) 10時30分～16時	青年の集い	大司教館	青少年委員会
3/17(月)19時	信徒発見160周年 日本の信徒発見の聖母記念ミサ	大浦天主堂	教区
3/20(木)10時30分	叙階式	浦上教会	教区
4/2(水)10時～15時	子どもの集い	浦上教会	信仰教育、召命、 諸委員会
4/27(日)14時～16時	日本カトリック障害者連絡協議会 長崎支部立ち上げ記念式典	城山教会	福祉委員会
5/4(日)～5/5(月)	青年・召命巡礼ウオーク	長崎県内	召命委員会
6/7(土)10時～12時	カトリック公開講座 講師:永井徳三郎氏	浦上教会	生涯養成委員会
8/8(金)19時～21時	原爆殉難者慰霊祭	爆心地公園	長崎県宗教者懇話会、 エキュメニズム・諸宗教委員会
8/8(金)22時～ 8/9(土)17時	被爆80年 聖体の永久礼拝	浦上教会	教区
8/9(土)18時30分	平和祈願ミサ	浦上教会	教区
8/10(日)14時～ 16時30分	ともに歩む“平和の巡礼者” の集い	浦上教会	教区、平和推進、 青少年委員会
9/1(月)～9/13(土)	長崎大司教区 聖年巡礼	ローマ、アッシジ、ルルド	教区
9/23(火) 10時30分～15時	カテキスタの集い	浦上教会	信仰教育委員会 カテキスタ養成部門
10/5(日) 14時～16時	移動者の日 『タリタクムセミナー』	(未定)	人権委員会
11/24(月) 10時～14時30分	聖歌隊の集い	城山教会	典礼委員会
12/28(日)14時	聖年閉幕ミサ	浦上教会	教区

※日程は変更する場合があります。また、各行事は主催者からご案内いたします。



浦上教会広報委員会  
40年以上にわたる奉仕する。

「29歳のとき参加したクルシヨの最終日、アガベにきていた当時の広報委員会の人たちに声をかけられたんです。文章を書くのは苦手でしたが、『写

情が変わります。優しい表情にこやかな表情、神父様や被写体のその人の思いが伝わるような写真を撮りたいと、そういう撮り方に変わってきました。2020年からは長崎教区広報委員会に協力し、特にカテドラルでの行事など撮影。在世フランシスコ教皇訪日の際は公

撮影エリアには制限があり、20メートル先の教皇を、テレビカメラの後ろに他のカメラマンと同じ固定の位置から撮る。飛行機を降りて来られる時から望遠レンズで構えていました。教皇様来崎の喜びは後から、県営球場でのミサで味わいました。」

## 被写体のその人の 思いが伝わるような写真を

### 浦上教会信徒 深堀範人さん



「真は撮れるやろう」と言われ、シャッターを押せば写るから大丈夫だろうと、それがきっかけでした。それまでは家族の写真を撮る程度でした。」

最初は思うように撮れず、次第に撮るべき写真のありようが見えてきた。「例えば説教する神父様を撮る時、話の内容で表

シスコ会では全国兄弟会の事務局で広報紙発行に携わり、同会のブログを担当。小教区ではいくつかの委員会に関わり、月末は教会広報紙「神の家」の編集・校正にメンバー皆で注力。教会ホームページの更新作業も行う。広報の役割を問うと、「伝えること、福音宣教、

式カメラマンの一人として長崎空港を担当した。「正直な話、精いっぱいでした。雨が降り、雨の中で撮れるようなカメラでもなく、ただ、ここで撮り損ねたらいけないという気持ちがあつて一生懸命夢中で撮りました。タラップを降りて来られる場面は絶対に撮ろうと。」

日頃心にとめていたことは「殉教者のこと。信仰を学び、考える。四番崩れの流配地を訪ねるなど、自分としてはそういうことに時間を使いたいと思つています。父方の直系は、旅で鹿児島へその妻のほうは和歌山に行つたそうです。どちらも流配され、そしてどちらも浦上教会所属。77歳。

浦上教会所属。77歳。

### 旧大神学院で「司祭の集い」

聖母の奉献の日に合わせて

昨年11月20日(水)と21日(木)、福岡の旧大神学院において、「司祭の集い」が開催された。1日目はスポーツと夕食会が、2日目は前田万葉板機卿の司式によるミサが行われ、



「司祭の集い」が開催された。1日目はスポーツと夕食会が、2日目は前田万葉板機卿の司式によるミサが行われ、

研修会などのために利用されている現状を報告した。また、今後の方向性についても、司祭や修道者はいずれも短期の宿泊や長期の滞在ができること、カトリック信者の男性や大学生の居住も可能性があること、今後も黙想や研修を受け入れ可能であることを語った。

講演会では、大阪・関西万博におけるカラバツ西万博の絵画「キリストの埋葬」や岡山聖書の26聖人の絵画の展示を、和田神父は宣教の好機であると紹介し、バチカンパビリオンのテーマ「美は希望をもたらし」を詩編の調べのように語った。

集いにはのべ25人ほどの司祭、40人ほどの信徒が参加した。参加した信徒は、「神父様たちが教区や修道会の枠を超えて笑顔で集っているのを見られるのは嬉しい」と語った。この集いは、旧大神学院の創立記念日である聖母の奉献の日に合わせて、サン・スルピス司祭会が主催した。

### ザビエル祭で感謝の祈り

12月1日(日)前日

で降り続いていた雨が上がり、温かい日差しが平戸を包み込みました。まるで中村倫明大司教様が、晴れやかな天気をもたらしたかのようです。平戸ザビエル記念教会でザビエル祭が行われました。



ザビエル祭は、平戸各地から集まった信徒の方100人ほどが参加してのミサとなりました。コロナの影響もあり、こうした集いに参加される方の数が減少していることが気になります。今年度は聖フランシスコ・ザビエル来日475周年の記念の年を迎えます。平戸文化センターで盛大に記念式典を行うことを目指しています。中村大司教様は司祭召命に大いに関心を示し、子どもたちに声をかけていかれます。信徒の1人は「人々に元氣とお恵みを与えられる大司教様のお姿と聖フランシスコの姿が重なります」と話していました。(平戸地区)

### 2つの地区で堅信式

上五島地区



上五島地区合同堅信式が11月10日(日)午後2時から青方教会で中村倫明大司教司式のもと行われ、中学生16人、大人2人が堅信の秘跡を受けた。大司教は説教の中で受堅者に対し、神様が愛をもつて私たちを選んでくださっていること、神様の思うように生きていない私たちが何度も抱きしめてくださっていることを語った。また、塗油の式の前には受堅者に対し、「両親の前に行き、愛

増すと考え、「聖コルベ愛の殉教」劇を企画した。内容は、聖コルベが修道院から連れ出され、餓死室で最期を遂げるまでの短い期間を目撃者や同期の囚人たちの証言を中心としたものにした。証言は彼らの真実のことばであり、強く訴える力があると考えた次第である。

生徒たちの、拙いながらも懸命な演技を通して、このメッセージが伝わると確信している。

学園劇をご覧いただきたい皆さんのために、この場を借りて、心から感謝を申し上げます。

ある統計によれば、ウクライナ戦争では、30万人以上の死傷者が報告され、パレスチナでも4万人を超える死者が出ている。そのほとんどが若い命や、幼い命である。この命や、幼い命の尊厳を訴え続けた本校の創立者、聖コルベの姿は輝きを

今年度、コロナのレベ

は、私の考えていたもの

を打ち砕いてしまった。

今年度、コロナのレベ

を打ち砕いてしまった。

今年度、コロナのレベ

今年度、コロナのレベ

### 井上淑子修道女

純心聖母会



昨日11月26日逝去。96歳。1928年島根県松江生まれ。30歳で入会。1960年初誓願、69年終生誓願。純心学園関係の会計から出発した務めは、その後、共済関係福祉施設の社会保険・宗教法人の事務職と、長きにわたって全うされた。美しい楷書で書かれたガリ版刷りの文書は、今も本部で大切に保管され、陰で支える力の大きさを物語っている。

2005年からは院内の奉仕に努め、18年にはロザリオの聖母修道院で療養生活を送っていた。22年3月に体調を崩し入院を繰り返していたが、からは、十字架上のキリストと共に日々の苦しみをささげていた。11月の半ばに容体が悪化し、26日に心不全のため静かに御父のみもとに召された。

### 短信

〈神学生養成援助献金〉

教区評議会女性部は、神学生養成援助のための献金として643万6498円を教区に届けた(2024年11月20日受領)。

### 感謝

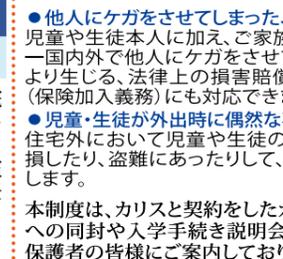
― 寄付 ―

長崎大司教区 ●至聖贖罪主修道女会様 右の方からご寄付・ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。



ドを紹介した。そして、「神様と同じです。イエスは真理を証しに生きてくださった方であり、真理とは、私たちは絶対的に愛されている存在であること、それは私たち皆が神様の子ともだから、洗礼と堅信は、神様がともにいる、全身全霊で抱きしめてくださる、確かな親心、しるしです。自信と勇気をもって周りの方々に神様の親心を届けてほしい」と受堅者を励ました。

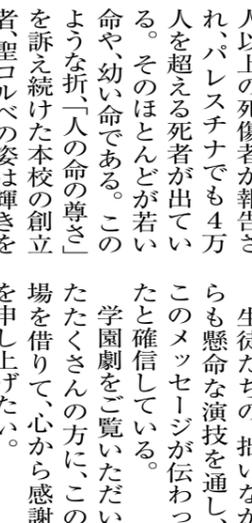
式の後、受堅者代表の宮下暢さん(本河内教会、高校1年)は、大司教に感謝を表すとともに、「今日が新しい始まりの日であることを忘れず、歩んでいきたい。イエス様とともに生きていきます」と覚悟を述べた。



私たちが、大澤阿紀子 大西 晃 毛利玲子 お守りします。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)



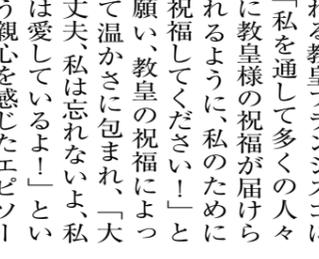
21世紀になって、こんなことがあってもいいのだろうかというところからスタートした。ロシアによるウクライナ侵襲とパレスチナ戦争である。人類は、歴史の中でさまざまなことを学び、よりよい社会づくりに活かしてきたものと考えていた。しかし、先にあげた戦争は、私の考えていたもの



ある統計によれば、ウクライナ戦争では、30万人以上の死傷者が報告され、パレスチナでも4万人を超える死者が出ている。そのほとんどが若い命や、幼い命である。この命や、幼い命の尊厳を訴え続けた本校の創立者、聖コルベの姿は輝きを



長崎南地区合同堅信式が11月24日(日)午後2時から中町教会で中村倫明大司教司式のもと行われ、中学生18人、高校生1人と大人9人の計28人が堅信の恵みを受けた。



式の後、受堅者代表の宮下暢さん(本河内教会、高校1年)は、大司教に感謝を表すとともに、「今日が新しい始まりの日であることを忘れず、歩んでいきたい。イエス様とともに生きていきます」と覚悟を述べた。

カリス通信 1月号 カトリック生徒総合補償制度のご紹介
カリスでは、カトリック学校の児童や生徒のケガや病気による入院等を補償する「カトリック生徒総合補償制度」を全国数多くのカトリック学校を通してご案内しております。
＜補償内容＞
●児童・生徒本人のケガの補償
児童や生徒本人が、急激かつ偶然な外来の事故で、①通院されたとき、②入院されたとき、③手術されたとき、④後遺障害が生じたとき、⑤亡くなったとき、所定の保険金をお支払いします。海外旅行中のケガ、地震・噴火・津波によるケガ、熱中症、細菌性食中毒(0157等)、特定感染症(SARS、鳥インフルエンザ)も補償します。
●児童・生徒本人の病気による入院補償
児童や生徒本人が、病気を被り1泊2日以上入院をされたとき、所定の保険金をお支払いします。

カトリック共済システム 検索 24TC-004887 (2024年11月作成)
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

株式会社サンフリード 長崎市中町584-1 TEL(095)813-8787
右記URLからご注文できます

赤城墓地 小家族様 分譲中 長崎石彫 岩永 095-862-2469